

よくある質問



Q1 学期の途中でも申し込みはできるのですか？

A1 できます。ただし大学によっては学期途中からの申し込みができない場合がありますので、あなたの大学の窓口にお尋ねください。受入学校の準備もありますので、事前に活動を希望する学校と連絡をとっておくと、よりスムーズに活動を始めることができます。

Q2 活動したい学校から受入プランが出されていません。活動することはできないのでしょうか？

A2 その学校が受入を希望すれば可能です。直接学校に問い合わせる方法もありますが、大学の担当者から市教委を通じて確認することもできます。まずは大学の窓口にお問い合わせください。

Q3 試験期間など活動できない時期があるのですが大丈夫でしょうか？

A3 大丈夫です。その場合は、活動ができない期間について、事前に学校に伝えておくといでしょう。学生のみなさんの本分は大学での学問ですので、無理はしないようにしてください。

Q4 履修の関係で活動できなくなりました。どうすればよいのでしょうか？

A4 やむを得ず活動予定期間中に活動を中止する場合には、速やかに受入学校および大学の窓口伝えてください。無断で活動を中止すると、学校も大学も大変困りますし、何よりも子どもたちに寂しい思いをさせてしまいます。活動を中止すること自体は当然起こりうることで、きちんと連絡をすれば大丈夫です。

Q5 「学生サポーター」の人は、日頃はどんな格好で活動しているのですか？

A5 普段着で活動している方、ジャージなどの動きやすい服装に着替えている方などいろいろのようです。派手な服装やだらしない服装は避けてください。具体的には、学校の担当者と打ち合わせてください。

「学生サポーター」のみなさんの活動のおかげで、子どもたちの笑顔が輝き、学校がいきいきと活気づいています。大学での勉強はもちろん、就職活動やアルバイトなど、大変お忙しい中で活動し、サポートしてくださっていることに、心から敬意を表します。ありがとうございます。

本市の「学生サポーター」制度が、学生のみなさんにとって有意義なものであり続けるよう、これからも教育委員会として努力していきます。よろしくお願いたします。

【お問い合わせ先】 各大学の窓口、または、福岡市教育委員会へご連絡ください。

福岡市教育委員会 教育支援部 教育支援課

〒810-8621 福岡市中央区天神1丁目8番1号
TEL : 092-711-4636 FAX : 092-733-5780
E-mail : kyoikushien.BES@city.fukuoka.lg.jp

学生サポーター 大募集!



福岡市立の学校で、子どもたちの
元気・やる気・勇気 をサポートしてください!



学校 が変わる



子ども が変わる



自分 が変わる



TAKE ACTION !!

「学生サポーター」制度とは

学生サポーター制度は、福岡市の教育改革プログラム「21世紀の福岡市らしい教育の推進」の取組の一つとして、平成16年度にスタートしました。福岡市と協定を結んだ大学が、福岡市内の学校の要望に応じて、学生を派遣するというもので、派遣される学生を「学生サポーター」と呼んでいます。

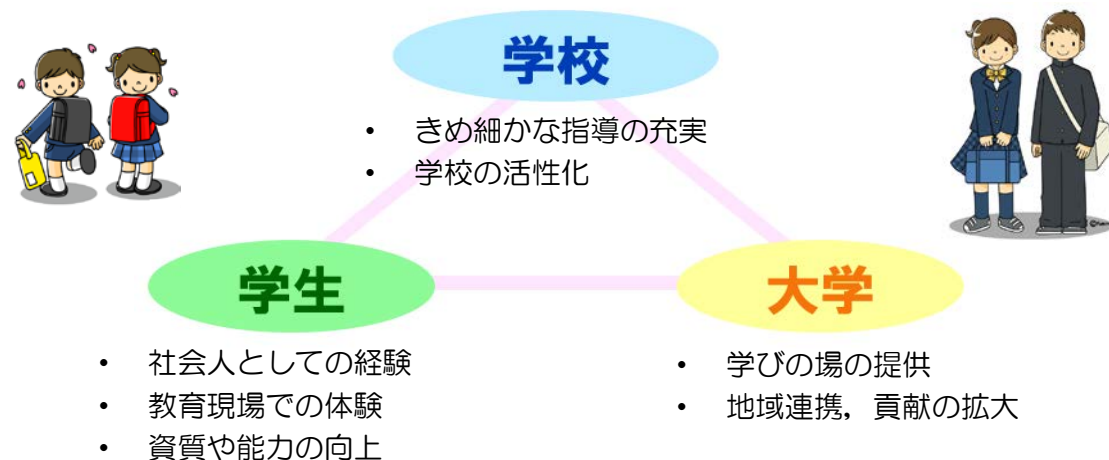
学生サポーターは、学校において、授業や学校行事、教材づくり、部活動など、さまざまな教育活動のサポートを行います。

派遣先は、受入を希望している学校の中から自分で選ぶことができます。活動の頻度や時間帯、サポートの内容についても、派遣先と相談して決めることができます。

現在、18の大学と協定を結んでいて、毎年400人前後の学生が活動しています。

福岡市教育委員会

学生サポーター制度のメリット



「学校，学生，大学の三者にメリットがある」のが，この制度の特長です。

主な活動内容

- 学習指導 のサポート
- 学校行事・学級活動 のサポート
- 教材作成・環境整備 のサポート
- 部活動・クラブ活動 のサポート
- 障がいのある子ども のサポート
- 外国から来た子ども のサポート

他にも，子どもたちと一緒に…

- ・ 給食を食べる
- ・ 休み時間に遊ぶ
- ・ 掃除をする など

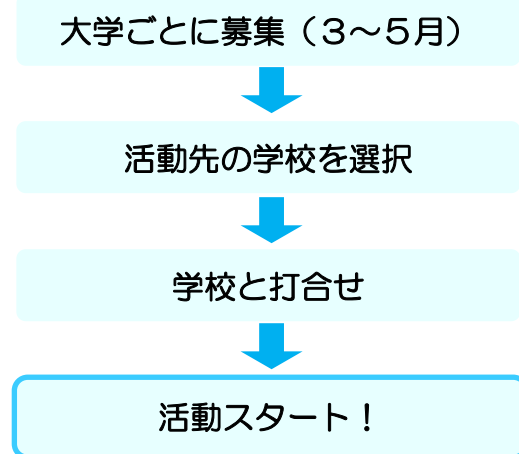


具体的な活動内容については，派遣先の学校の担当の先生と話し合っ決めていきます。
最初の打合せでは，「自分はどんなことをしたいのか」を遠慮なく伝えてください。また，「学校・子どもたちは，どんなサポートを必要としているのか」をしっかり聴くことも大切にしてください。
初めての人も，「無理なく，できることから」活動を始めることができます。

保険について

学生サポーターのみなさんが，子どもたちと一緒に，いつも安心して活動できるように，福岡市教育委員会では，「**傷害保険**」「**賠償責任保険**」に加入しています。活動中に，万一けがをして通院や入院をした場合には，補償金を支払います。活動中にけがなどをした場合は，すぐに派遣先の担当者に報告してください。通院した場合は，その都度領収書を受け取り，大切に保管しておいてください。

「学生サポーター」として活動するまでの流れ



大学によって募集時期や募集の仕方が異なります。あなたの大学の窓口にお尋ねください。

各学校から大学に提出されている「受入プラン」を参考にして，活動先を選んでください。

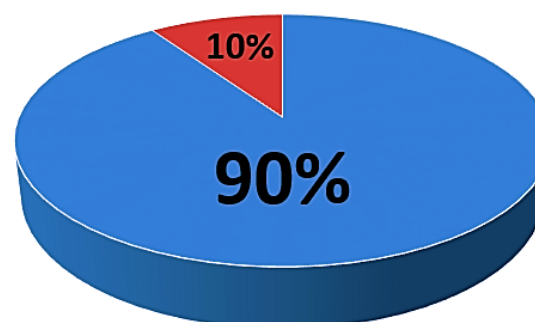
活動の日時や内容等について打合せます。安心して活動を始められるよう，何でも尋ねてください。まずは電話で連絡し，打合せの日時を決めます。

「やってみよう！」と思ったら，まずは大学の窓口へ！



活動した学生のみなさんの声

学生サポーターをやってみて，「やってよかった」「自分のためになった」と感じますか？



実際に活動した学生 117 名が回答
(令和元年度 無記名アンケート)

感想 () 内は左から，学年・教職希望の有無

- **子どもとの接し方や個別の支援，指導法**を学ぶことができ，その**子どもの成長**を間近で見ることができる。(1年・有)
- 教育実習で知ることは1年のうちの1ヶ月なので，毎週1回だけでも**1年を通して教室の動き，子どもの様子**を知ることができる。また，**全ての学年や様々な性格の子ども**と出会い，関係づくりなどの経験ができたので，やってよかった。(3年・有)
- 大学の授業だけではイメージしかもてないが，実際に現場に入ることによって，**大学で学んだことを確認**したり，**先生方の授業や子どものつまずき**を知ったりすることができた。(2年・有)
- 毎回，**新しい発見**があり，**自分の考えを見直す**こともある。また，日常で接することのない世代と関わることができ，**自分自身の成長**にもつながっているのを感じる。(3年・無)
- 先生方が**この先教員になった際に必要なこと**などを教えてくれたり，**指導法を自分で考えたり**できて充実している。(4年・有)

「学生サポーター」が活動中に困ったこと・悩んだこと

先生方が忙しくて打ち合わせの時間があまりとれず，何をしたいのか分からないときがある。

- みなさんの先輩の実践でうまくいった方法をいくつか紹介します。
 - ・ ほうれんそうノート（連絡ノート）を活用し，次の活動予定や活動の留意点などの情報交換を行う。
 - ・ 職員室に学生サポーター用の掲示板（小型ホワイトボード）を作ってもらい，それを見て活動する。
 - ・ とにかく積極的に先生たちに話しかけ，少しでも話をする。（教室から職員室に向かう途中など）

子ども同士のケンカ等に対して指導（助言）する際，どこまで言っているのか分からない時がある。

- ケンカに限らず，子どもの行動や態度は，その子の性格，人間関係，家庭の様子，前後の出来事など，さまざまなことと関わっています。しっかりと話を聞いてあげることは大切ですが，具体的な指導については担任の先生に任せの方がよいでしょう。ただし，明らかに間違っ言動については，社会人として毅然とした態度で教えてあげることも大切なことです。兼ね合いが難しいところですが，担当の先生等と連携して子どもたちと向き合ってください。大事なものは「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」です！